

- ＜火災対策のポイント＞**
- 初期消火のバケツ、消火器の準備は？
 - 風呂の残り湯の確保はしていますか？
 - 防煙体策は？
 - 火災場所からの避難方法？（髪の毛は引火しやすい）
 - 漏電による火災対策？（コンセント周りの花瓶・水箱）
 - 資産保護？（耐火金庫の使用など）
- ＜夜間の地震対策のポイント＞**
- 停電対策は？
 - 避難用の履物や眼鏡などの準備？（枕元へ準備）
 - 照明器具やテレビなどの落下防止は？
 - ベッド周囲の家具の転倒・移動防止は？
- ＜断水対策のポイント＞**
- 風呂の残り湯の確保はしていますか？
 - 生活用水の汲み置きは？（生活用水は1人1日6ℓが目安）
 - 水のいらないトイレの準備？
 - 被災時飲料水の準備は？（飲料水は1人1日3ℓが目安）
 - 給水を受けるための容器の準備は？
- ＜安否確認のポイント＞**
- 携帯電話はフル充電？ 簡易充電の準備は？
 - 被災時の家族間の連絡方法の打ち合わせ？
 - 子どもの引き取りに関する相談はしていますか？（保育園や学校は？）
 - NTT災害用伝言ダイヤル「1171」や、災害指示板の利用方法は？
 - 避難用カードの作成？（家族の連絡先や避難場所明記）
 - 夫が帰宅できない状況になっても、避難や災害復旧が出来ますか？
- ＜避難のポイント＞**
- 持ち出すものは準備はしていますか？
 - 入り口や既製のおんが紐がなくてもおんがは出来ますか？
 - 避難生活が長引くときの疎開先は考えられていますか？
 - 家族以外に地域で頼れる人は？
 - ベッドの為の災害対策はしていますか？
- ＜避難通路確保のポイント＞**
- 被災時の避難経路は想定していますか？
 - 通路に物を置いていませんか？
 - 窓際や非常口はさかかっていますか？
 - 階以上の建物からの避難方法は？
 - 避難場所を把握し、実際に試してみたいことはありますか？
- ＜ガラスの飛散防止のポイント＞**
- 高いところに割れ物をおいていませんか？
 - ガラス飛散フィルムを貼っていますか？
 - 食器の飛び出し対策は？
 - 被災時の（ガラスを踏まないように）室内履きの準備は？
- ＜家具転倒防止のポイント＞**
- 連結家具の対策は？
 - 本棚やたんすなど、重いものは低い位置に入っていますか？
 - テレビや家電製品は、滑り止めシート、振動吸収剤を使用している？
 - 家具や食器棚に固定金具、転倒防止のつっぱり棒などは？
- ＜ガラスの飛散防止のポイント＞**
- 高いところに割れ物をおいていませんか？
 - ガラス飛散フィルムを貼っていますか？
 - 食器の飛び出し対策は？
 - 被災時の（ガラスを踏まないように）室内履きの準備は？
- ＜家具転倒防止のポイント＞**
- 連結家具の対策は？
 - 本棚やたんすなど、重いものは低い位置に入っていますか？
 - テレビや家電製品は、滑り止めシート、振動吸収剤を使用している？
 - 家具や食器棚に固定金具、転倒防止のつっぱり棒などは？
- ＜ガラスの飛散防止のポイント＞**
- 高いところに割れ物をおいていませんか？
 - ガラス飛散フィルムを貼っていますか？
 - 食器の飛び出し対策は？
 - 被災時の（ガラスを踏まないように）室内履きの準備は？

「親子のコミュニケーション」を応援するワークショップの企画開催や情報発信を行っております。



「いのち」をまもる

「いのち」を育むおもいをかたちに「百はぎのきもの」活動より

活動を通じ、沢山のマタニティーママや小さなお子さんのパパ&ママのお話をうかがう機会がありますが、時折 話題になつては「？」のままで終わるのが地震を中心とした防災のお話。気になりながら、置き去りにになっていた防災ですが、2007年の岩手・宮城内陸地震を期に「マタニティーママと乳幼児の家庭の防災」を考える取り組みを始めました。

今年度は、防災教育チャレンジプラン2009の採択団体として「プロジェクトG～ママの安心防災対策～」を実施しておりますが、地震災害について、過去の被災事例を調べたり、専門の先生のお話をうかがうにつれ、自分たちが持っていた情報の偏りと他力本願の対策や被害を楽観していた事を反省しました。家屋が倒壊するほどの災害は無いかもしれませんが、しかし、地震がもとで火災になったり、家具の下敷きになったり、停電で慌てたりすることはあり得ます。そしてそれは、正しい知識と備えで被害を減らす事が出来ます。お産後のママやお子さんが被災したら？「おっぱいが出なくなるらいいよ」「子どものストレスサイン？」一般の大人とは違った「気をつけるポイント」や「考え方のポイント」に触れ、それぞれのご家庭が災害に備えるヒントにしたいと、いざと言うときの備えになることを祈念いたします。

「いのち」をつなぐ

＜お問合せ先＞

あそびma・senka 

<http://www.k3.dion.ne.jp/~baby-s/>

〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋2丁目7-43 ミントハウス101
TEL&FAX: 019(626)1181

※月曜をのぞく平日の11時～17時にて対応させていただきます。

製作・発行 2010年2月 あそびma・senka
2009年 防災教育チャレンジプラン

「岩手は地震が回らないでよ」「良くわかんないけど、家はきつと大丈夫だよね」「備えておくと安心するよ」に小さくなる、結局無駄になるものが多いよ～」

後回しの方も多いですよ。
「不安なのは遠くないけど、何からやったら良いか...結局、そのうちに子どもが大きくなるよ」とわかっていても、日々の暮らしに追われて戻りた方も多くいます。

そこで、あそびma・senkaは、盛岡・気仙地域にお住まいの「マタニティーママ」と「0～3歳のお子さんをお持ちのご家庭」を対象（施設によっては0～6歳）に「子育て世帯の防災に関するアンケート」を実施。280組のご家族から災害への備えや不安、要望などを伺い、防災教育や被災時の支援に向けた取り組みを始めました。

ご協力いただいたご家庭の背景

- ・核家族が74%
- ・賃貸住宅が56%
- ・居住年数3年以下が56%
- ・母が就業している家庭89%
- ・地域交流の機会がほとんど
- ・無い家庭が56%
- ・地域の防災情報を全く把握していない家庭が59%

災害への備え

- ・災害に備えた家族間の話し合いをしている家庭は3%
- ・災害時の連絡方法を話し決めている家庭は16%
- ・居住年数3年以下が56%
- ・災害時の避難場所を知らない家庭は37%
- ・非常時の持ち出し品の準備をしている家庭は23%
- ・7割の家庭が、「地震などの災害に備え何らかの対策をとっている」と回答していただきましたが、その大半が「優る部分は安全なスペースを確保している」というもので、「家具や家電製品の固定」などの減災への対策は少数でした

保育中の被災への備え

- ・保育時の出社など、父親が不在になる可能性がある家庭73%
- ・災害時、夫婦間で連絡不能
- ・または、連絡がつくか心配
- ・保育中の被災や連絡について、話し合っておらず、考えていない家庭が67%

※アンケートの詳細は、ホームページやサロンなどで紹介いたします。

～もし、このままで大きな地震がきたら～

家具が転倒、家電製品玩具や食器の散乱
家族の安否確認困難
余震が続き、おびえる子どもの世話をしながらの片付けやトイレの回復までの生活
子どもと荷物がかかえての避難
保育園のむかえに行かない！
どこで避難先は？


防災＝非常持ち出し品準備のイメージの方も多いかと思いますが、それぞれの状況で必要なものや量も違ってきます。
阪神・淡路大震災で亡くなった方の89%は、家屋や家具の倒壊によるものです。

2009年度防災教育チャレンジプラン助成事業

ママも安心 防災プラン

大きな地震や水害にはあわなくとも、たとえ短時間でも停電などのライフラインが停止した場合の備えは出来ていますか？
マタニティーママやお子様の被災事例や被害予測を知り、それぞれのご家庭に必要な防災を考えてみませんか？



あそび ma・senka は 

「あそび」を通じて、親子の「えがお」を応援している仲間がまり親子のコミュニケーションが「もっと楽しく&もっと豊かに」を応援すると共に、子育て・子育て環境がより豊になる事をめざして活動しているサークルです。

＜プロジェクト遊＞ 親子のコミュニケーションを応援する活動

- ・2009年1月NPO基金受託「おとうさんと出かけma・senka」

＜プロジェクトI・ko・san＞ 「いのち」をつなぎ育む活動

- ・いわて子どもの森「いのちのお話しキャラバン」事業協力
- ・岩手ボランティア育成会第9回長澤基金受託「いのち」をつなぎ「はぐくむ」事業
- ・財団法人こども未来財団「子育て・子育て支援団体活動研修事業」受託
- ・花王・コミュニティーミュージアム・プログラム2009つなぐ「いのち」～ミュージアムからつながる産育～

＜プロジェクトG＞

新しい家族を迎える世帯や小さいのちを育む家庭を地域の先輩やおじいちゃん、おばあちゃんが支える温かな街づくりをイメージし家族の「元気」と「笑顔」を応援する活動

- ・2009年防災教育チャレンジプラン実践団体

★防災教育チャレンジプラン <http://www.bosai-study.net/cp/index.html>